

地域の老否など孤独死ゼロ

自治会や民間業者と連携し、地域見守りネットワークの構築

近年、大きな問題となっている誰にも看取られずに亡くなる、いわゆる「孤独死」。市では、孤独死を未然に防ぐため、自治会や民間業者などと連携した新たなネットワーク作りを進めています。

圏社会福祉課健康福祉政策室

☎7168-1009 (地域見守りネットワーク専用)

6月29日に正式にスタートした流山市地域見守りネットワークは、孤独死の恐れのある方を日常的に見守りしていく体制のことです。

自治会や地区社会福祉協議会などを中心に、新聞配達、電気、ガス業者などの民間業者や民生委員などと連携し、日常の変化に気付いた場合などに、市に連絡をしていただきます。連絡を受けた市は状況を確認し、必要に応じて警察

や消防などと連携しながら適切な対応をとっていきます。

見守りを必要としている方は、見守り活動を行なっている自治会または市へご連絡ください。

本人から申し込みがあった場合に限り、地域自治会での見守り活動が受けられます。

心配な日常の変化とは…
次のような変化に気付いた

場合は、市に連絡してください。ただし急を要するときは警察、消防へ直接ご連絡ください。

- ・新聞や郵便物がたまったままになっている
- ・洗濯物が干したままになっている
- ・部屋の明かりがついた(消えたままになっている)
- ・雨戸が閉まったままになっている

個人情報の取り扱い

個人情報保護のため、見守りを希望の方の情報は市が管理します。本人の同意があった場合に限り、自治会などに情報提供します。

